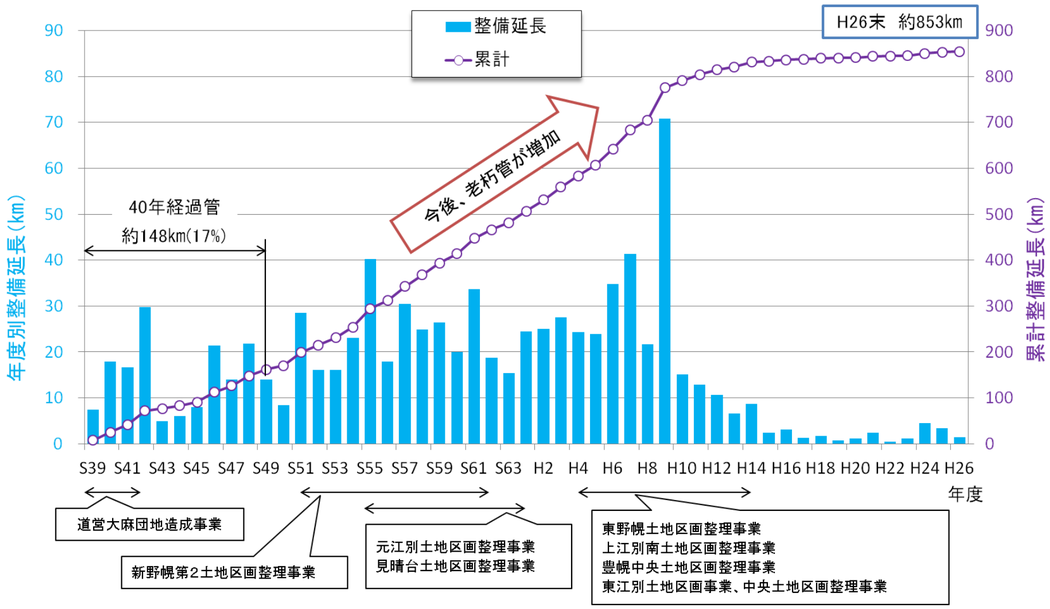
管路施設改築更新事業

資料　2

★　下水道管路の年度別整備延長（H26年度末）



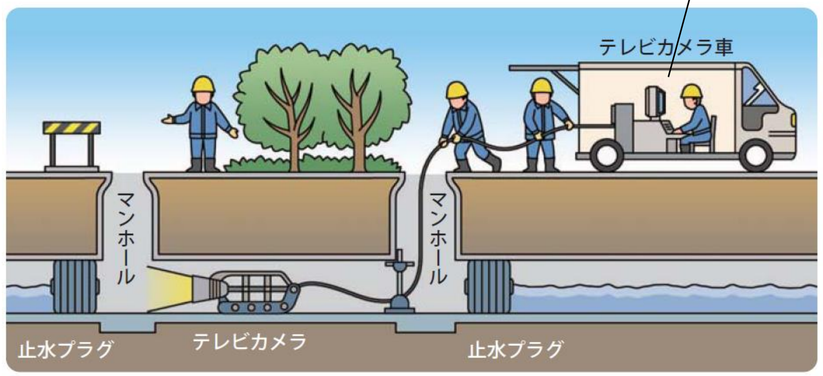
- **道路陥没件数が多くなる40年を経過した管路は、平成26年度末で全体の17％である。**
- **今後老朽管が急増し、下水道機能への支障や道路陥没など社会的に大きな影響を及ぼす事故発生の可能性がある。**

★　下水道管路の詳細調査

- **目視による詳細調査**

〈調査地区〉
・H24～H26の調査
　→ 市内で一番古い大麻地区
・H27～H31の調査
　→ 2番目に古い合流地区を予定

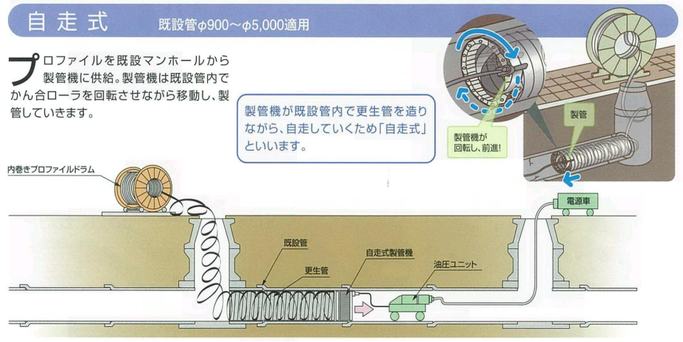
- **テレビカメラによる詳細調査**

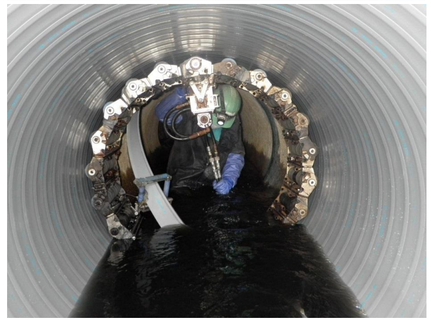
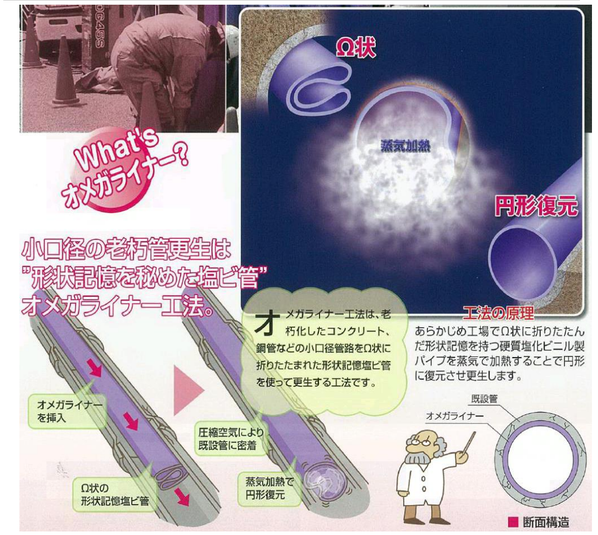
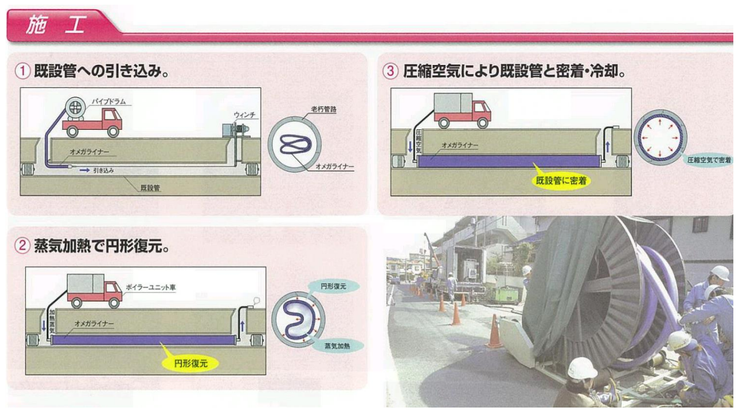


★　改築・更新

- **診断の結果をもとに長寿命化計画を策定し、次の分類に分けて改築・更新を行う。**
  - **①　劣化、損傷のないものはそのまま既設管活用する。**
  - **②　一部の損傷については部分的に修繕する。**
  - **③　老朽化、劣化が著しいものは、施工条件および経済性等を総合的に勘案し、既設管をライニング（内面を合成樹脂などで被覆）して利用する管更生工法もしくは新しい管に入れ替える布設替を行う。**

★　管更生　SPR工法（自走式φ900㎜～）





★　管更生　オメガ工法（自立式φ150～400㎜）